



第1回 中学生被爆地派遣事業(長崎市)

本市は平成元年から「中学生被爆地派遣事業」を行っており、毎年広島市へ市内中学生を派遣してきました。そして、今年度から初めて、もう一つの被爆地である長崎に中野市立中野平中学校の生徒4名、引率教諭2名の計6名を平和使節及び生徒指導員として派遣しました。

主催：中野市教育委員会
問合せ：(メール) gakko@city.nakano.nagano.jp
(電話) 0269-22-2111 (内線 417)



中野市の平和について考えよう！！

～十三崖弾薬庫との出会い・事前学習会～

平成30年7月19日 中野市深沢にある十三崖弾薬庫で学習

十三崖弾薬庫学習 (講師紹介・説明)

- ・実際に中野市にある十三崖弾薬庫に出かけました。講師の先生(涌井さん)から、十三崖弾薬庫ができた経緯などについて様々な説明を受け、平和について学習しました。

事前学習

- ・平和や戦争について正しい知識を得るために、第二次世界大戦などの戦争や平和について、調べ学習をしたり、仲間と意見を交換したりしました。



十三崖弾薬庫での学習



青少年ピースフォーラムへ参加しました！！

～報告会&文化祭で発表～

報告会：8月29日 中野市役所会議室にて開催

- ・報告会に向けて、発表資料・原稿の作成
- ・中野市副市長に報告したり、他校の生徒の発表を聴いたりして、平和についてさらに深く考えました。



報告会

文化祭での発表 平成30年9月28日 中野平中学校

- ・「長崎交流報告」を文化祭で全校生徒と保護者の方の前で発表
- 【長崎へ訪問した生徒の決意・感想】
- ・学んだことをこれから私が周りの人に伝えていき、中野市の平和教育の発展につなげていきたい。
 - ・「二度と戦争が起きずに、被爆者が出ないように」を実現するために、まずは中学校の生徒に、そして中野市、長野県、日本、世界へと戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさを伝えていきます。
 - ・唯一の被爆国である日本人々が平和への願いを誰よりも強く持ち続けていかないといいと思います。
 - ・現地に行ってみなければ知ることができない体験ができてよかったです。今までよりも戦争に対する関心が高まりました。



文化祭での発表

【青少年ピースボランティアからのメッセージ】
(坂本) みなさんと学習できて楽しかったです。
伝える側として一緒に頑張りましょう (^ ^)

